

# 2004年3月期 業績概要

2004年4月30日  
アンリツ株式会社  
社長 塩見 昭

(<http://www.anritsu.co.jp/j/ir>)



# 新たな成長に向けて

**FY2003:** 業績は当初計画通りに進捗し、  
営業利益黒字化を達成

売上高: 784億円 営業利益: 18億円 (2.3%)

**今後:** デジタル移動通信用計測器のシェア拡大により  
堅実な成長路線を目指す

FY2004 売上高: 865億円 営業利益: 50億円  
(5.8%)

FY2005 売上高1000億円 営業利益: 100億円 (10%)

# 2003年度の業績概要

# 2004年3月期 業績概要

## (1)損益(連結)

単位:億円 ( )は前期比増減額 △:損失

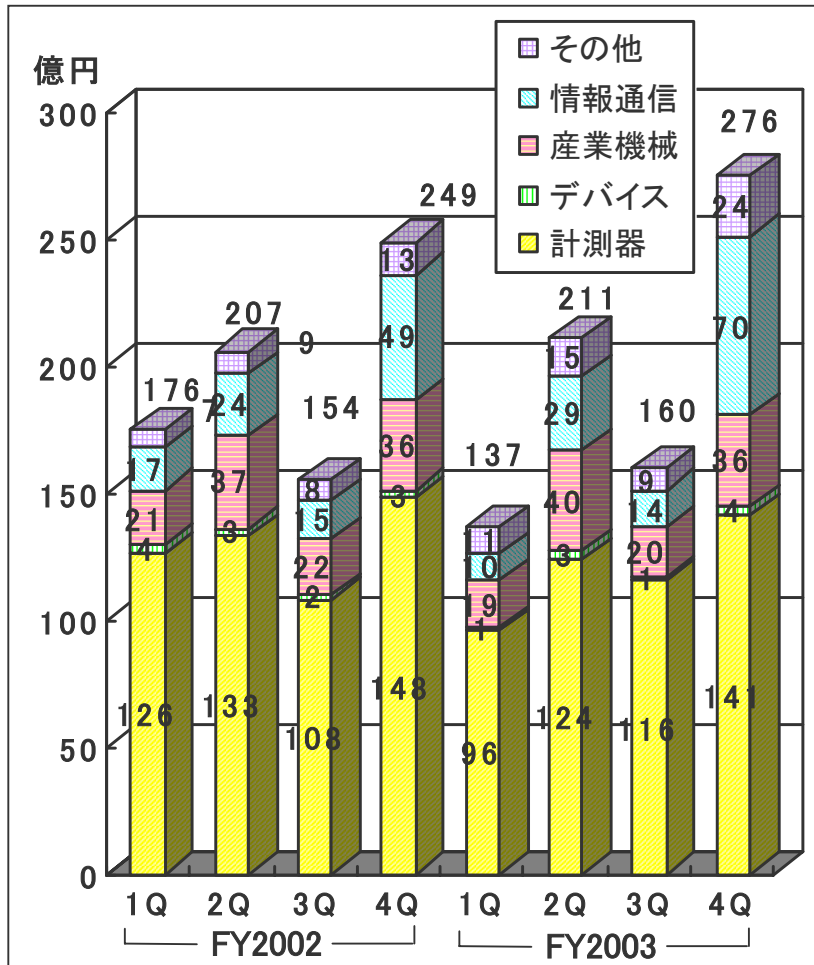
	2003年度				2002年度	
	連結		単独		連結	単独
売上高	784	(△2)	475	(27)	786	448
営業利益	18	(125)	2	(125)	△107	△123
経常利益	△25	(113)	△24	(111)	△138	△135
税引前利益	19	(371)	16	(313)	△352	△297
当期利益	11	(339)	13	(286)	△328	△273
FCF	104	(247)	99	(280)	△143	△181

## (2)事業セグメント別(連結)

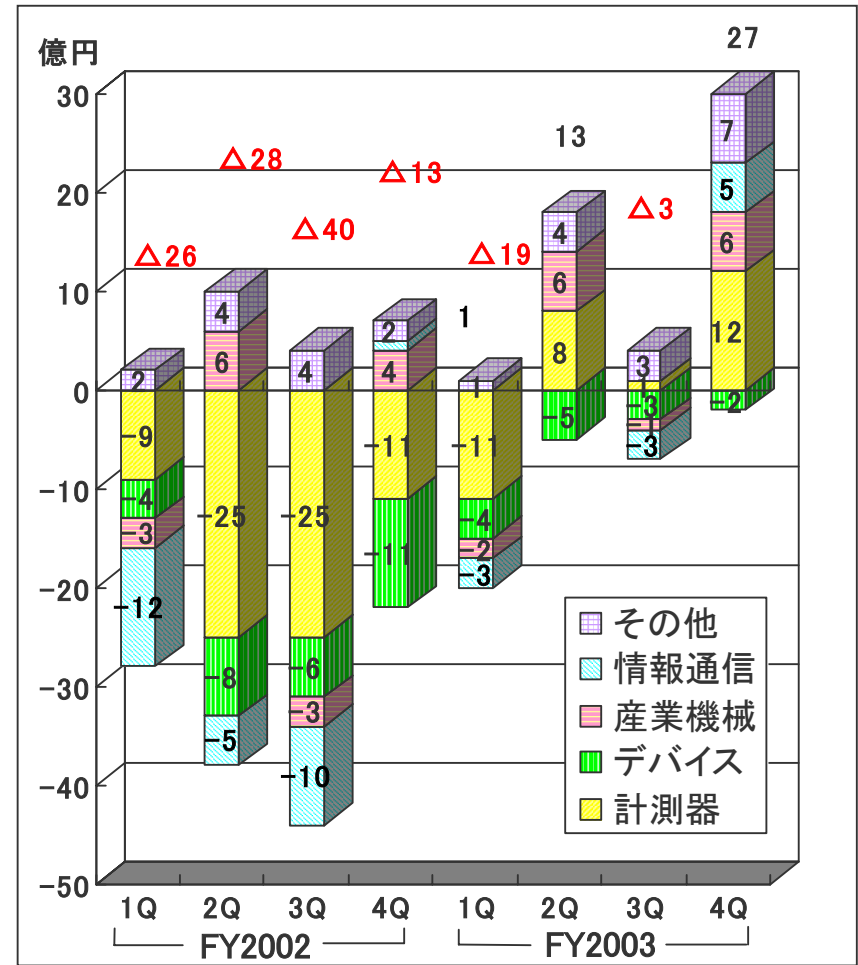
単位:億円 ( )は前期比増減額 △:損失

	2003年度				2002年度	
	売上高		営業利益		売上高	営業利益
計測器	477	(△37)	10	(79)	514	△69
情報通信	124	(18)	△2	(23)	106	△25
産業機械	114	(△2)	9	(5)	116	4
デバイス	9	(△3)	△14	(14)	12	△28
その他	60	(23)	15	(4)	37	11
計	784	(△2)	18	(125)	786	△107

# 事業セグメント別業績(連結)

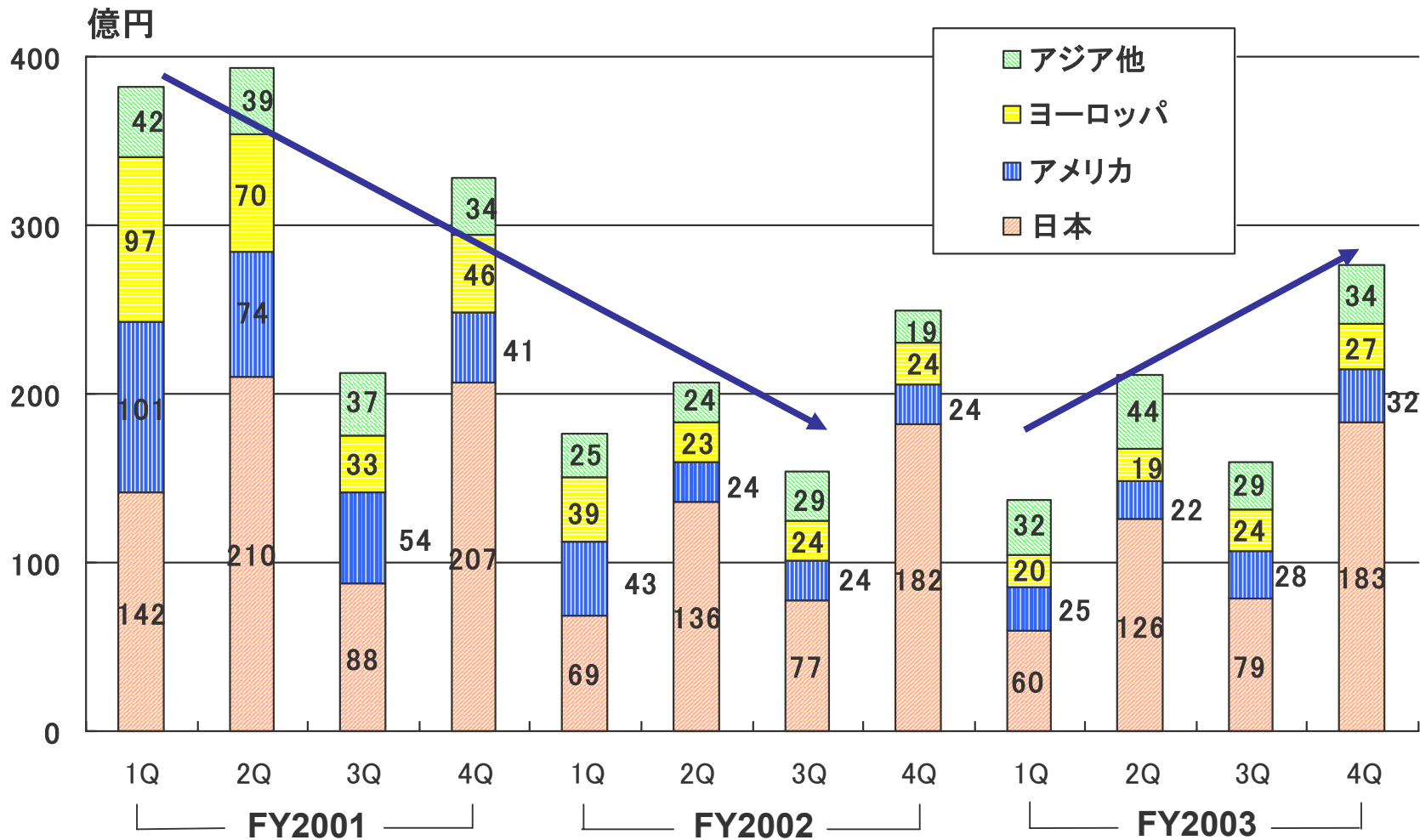


売上高

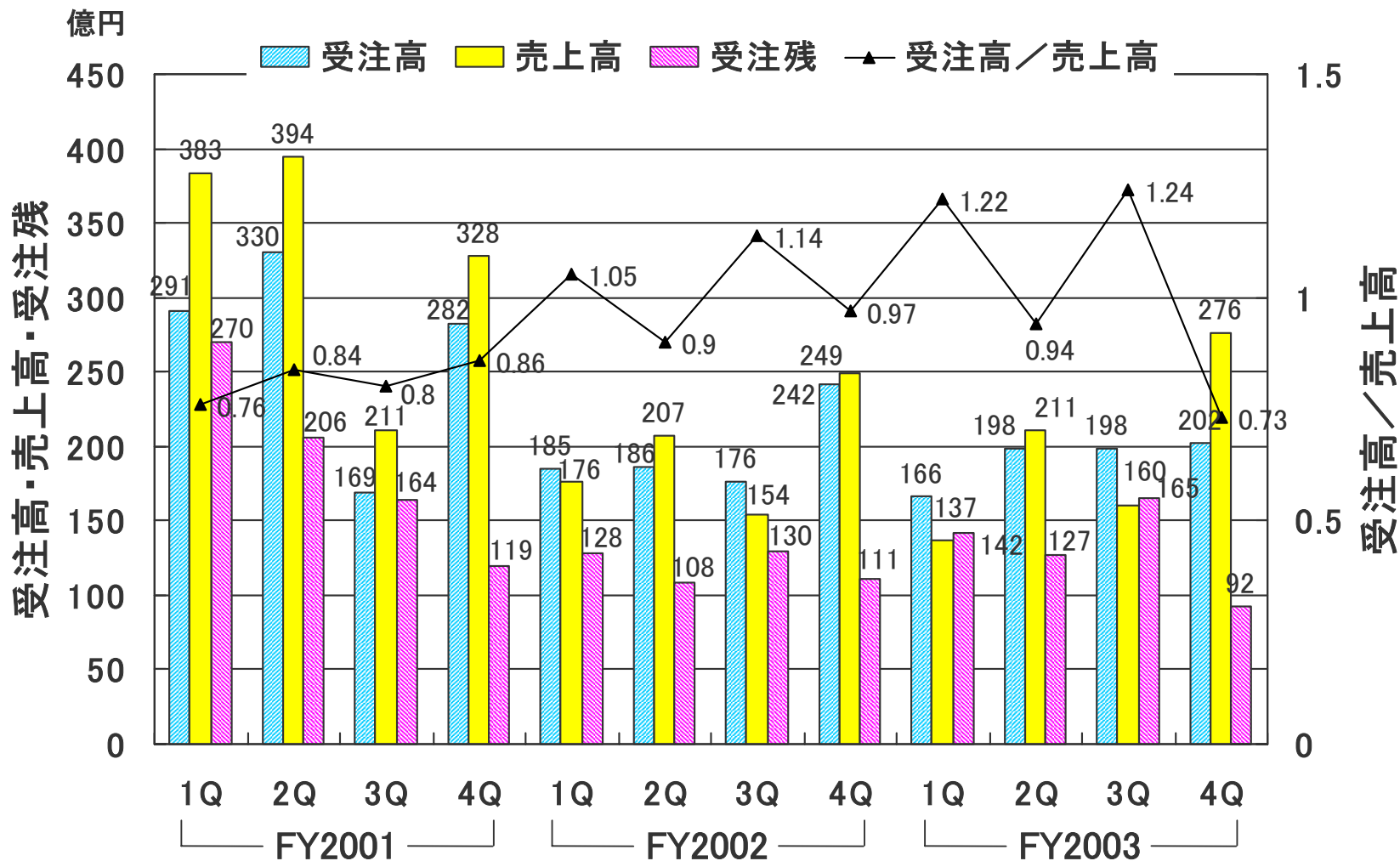


営業利益

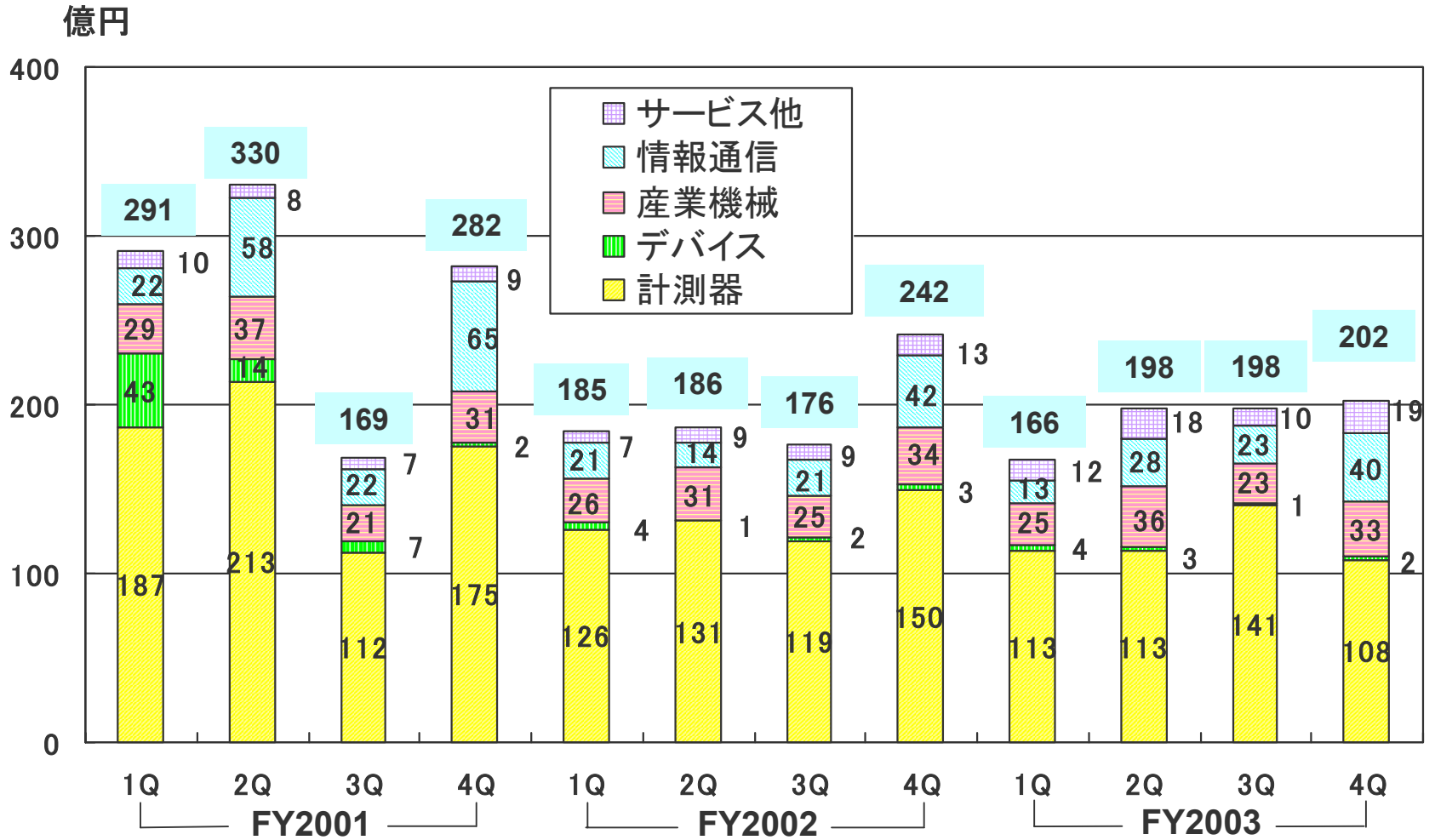
# 地域別売上高推移（連結）



# 受注・売上・受注残推移(連結)



# セグメント別受注推移（連結）





# 営業外・特別損益概要(連結)

単位:百万円 △:損失

	上半期		通期	
	2003/9 実績	2002/9 実績	2004/3 実績	2003/3 実績
<b>営業利益</b>	△641	△5,441	1,808	△10,748
金融収支	△514	△617	△1,047	△911
棚卸資産廃棄等	△2,033	△1,059	△2,289	△1,174
為替差損益	△225	△165	△641	△82
その他	△69	33	△345	△886
<b>営業外損益計</b>	△2,841	△1,808	△4,322	△3,053
<b>経常利益</b>	△3,482	△7,249	△2,514	△13,801
退職給付関係	-	6,229	2,573	6,229
特別退職金	-	△5,044	-	△11,341
棚卸資産評価損等	-	△13,173	△3,480	△14,902
固定資産売却損益等	4,857	-	4,293	△595
その他	385	3	1,000	△789
<b>特損益計</b>	5,242	△11,985	4,386	△21,398
<b>税引前損益</b>	1,760	△19,234	1,871	△35,199

# キャッシュフロー計算書(連結)

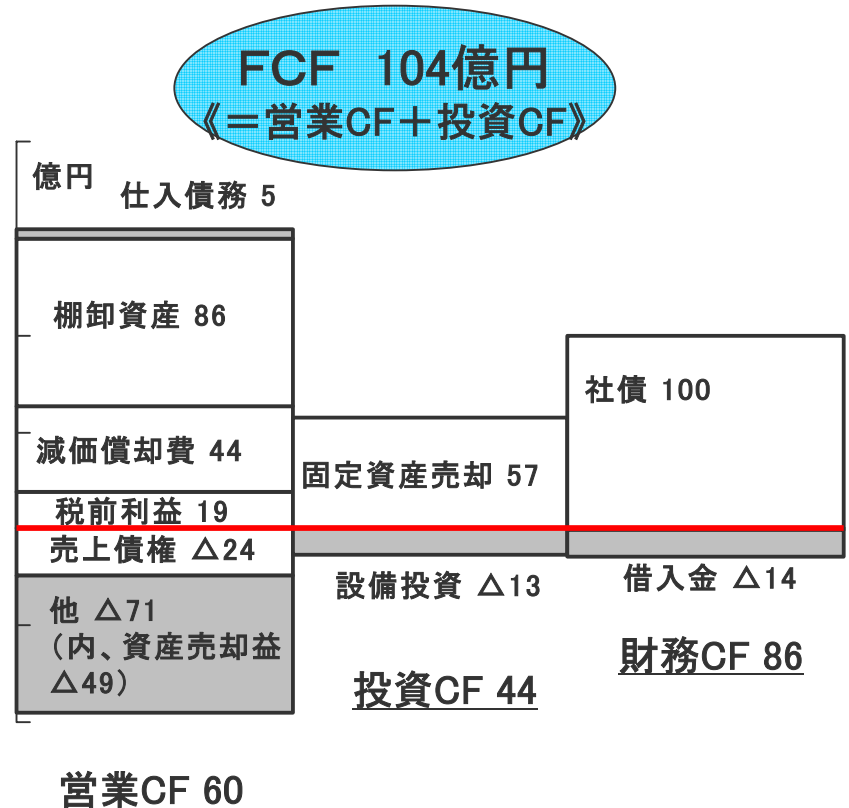
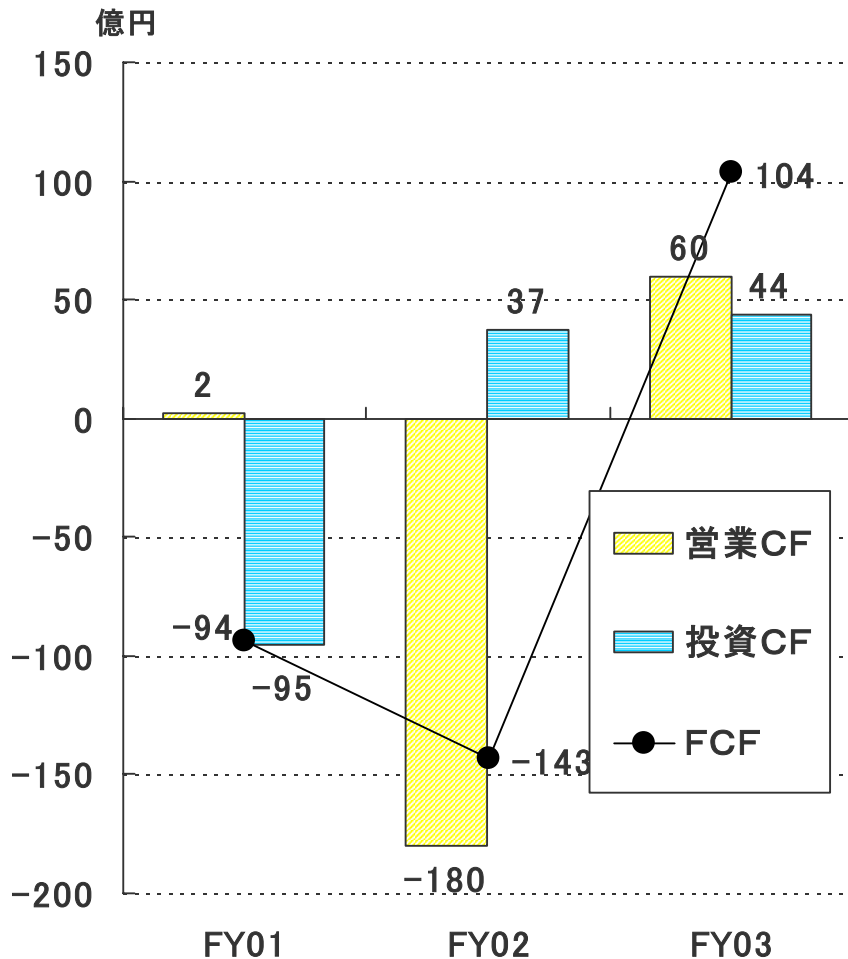
	FY2003	FY2002	FY2001
<b>1. 営業活動によるCF</b>	60	△180	2
税引前利益	19	△352	63
減価償却費	44	60	67
運転資本計	68	200	64
売上債権	△24	67	297
棚卸資産	87	166	△14
仕入債務	5	△33	△219
退職給付費用関連	3	△140	△23
法人税等	0	23	△134
<b>2. 投資活動によるCF</b>	44	37	△95
有価証券・投資有価証券	1	34	15
設備投資	△13	△27	△90
事業・資産売却収入	57	32	
フリーキャッシュフロー(1+2)	104	△143	△93
<b>3. 財務活動によるCF</b>	86	△84	244
借入金純増減	△14	62	117
CB・SB発行(償還)	100	△142	150
配当金の支払		△4	△17
現預金の期末残高	352	168	396

単位:億円  
△:減少

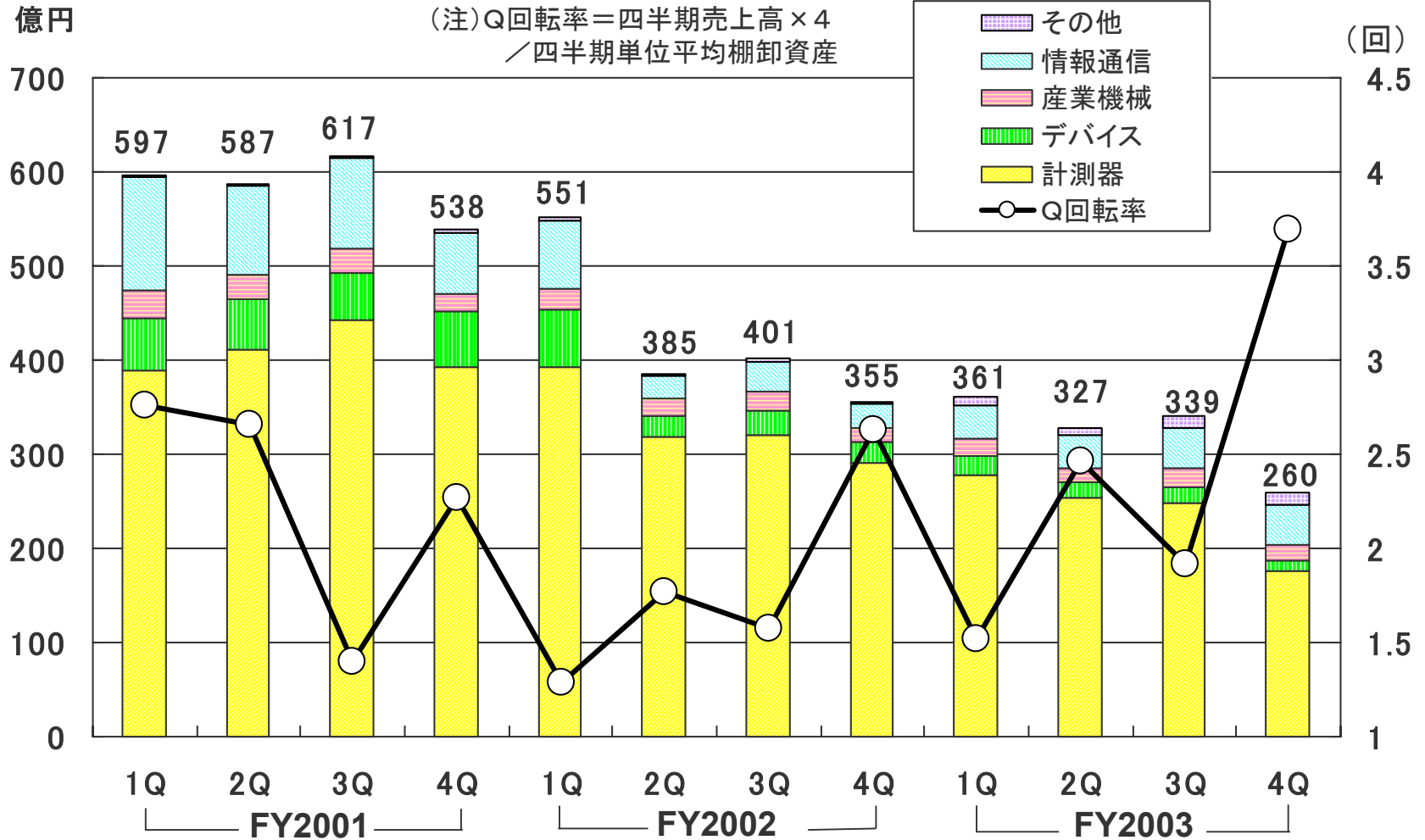
主な項目  
のみ表記

# キャッシュ・フロー推移(連結)

2003年度内訳



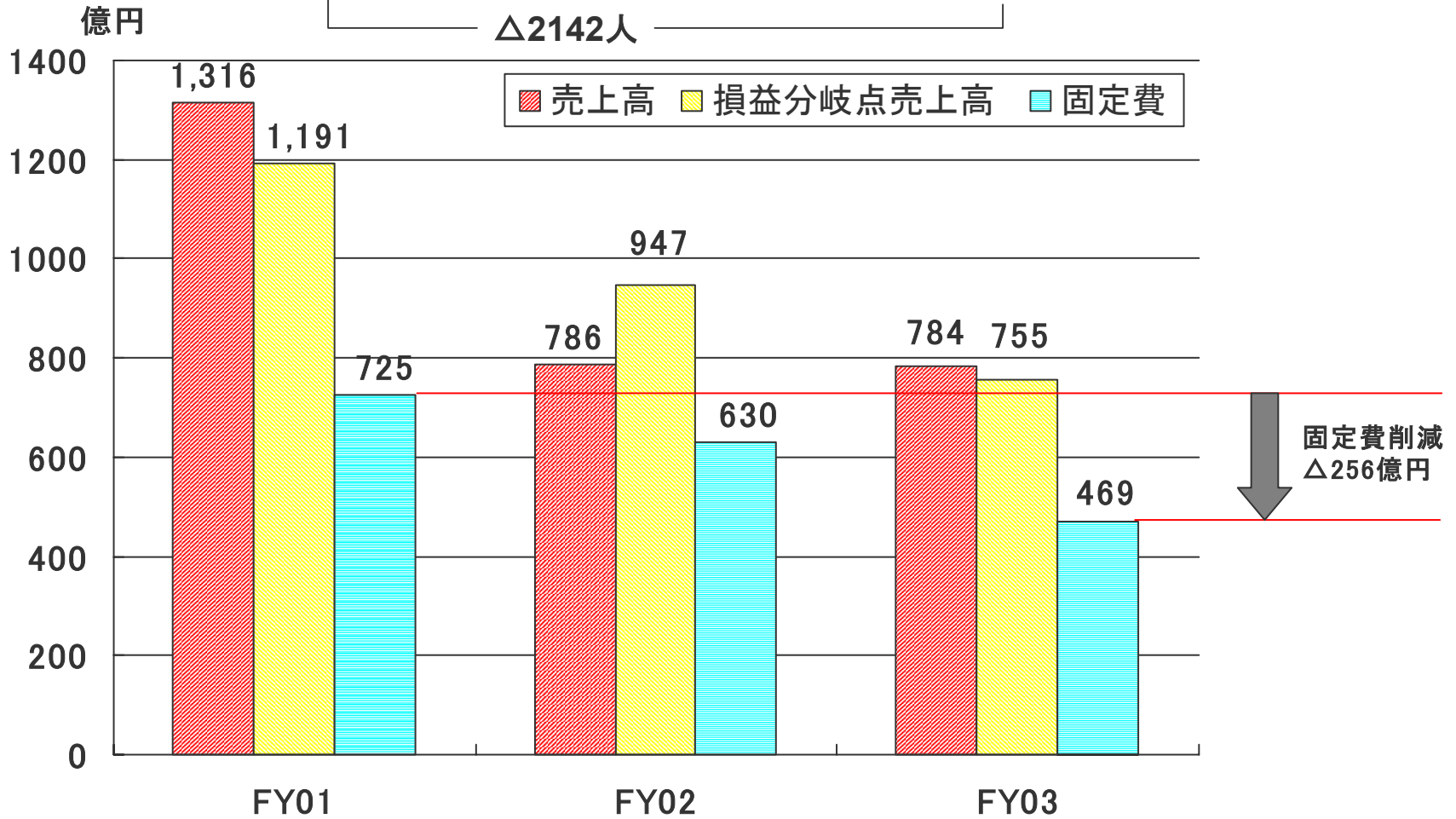
# 棚卸残高推移(連結)



# 費用構造の改善状況(連結)

(‘01/9末人員; 5710人)

(‘04/3末人員; 3568人)



# 2004年度の経営方針

# 今後の事業展開(1/4)

## 1. 移動通信用測定器事業

### ・3Gの測定器を全世界に展開

- 日本: 急増する3G端末のアプリケーション開発用、製造用、保守用  
NTTドコモに「FOMA(\*)テスト」採用  
3.5世代(HSDPA)の開発用
- アジア: 3G端末の製造用、インフラ評価用  
中国CATR(電信研究院)にGCF承認の  
3GPPコンフォーマンステストシステム
- 欧州: 基地局建設用エリア試験
- 米国: チップ開発用、端末保守用

ME7873A 3GPPコンフォーマンステストシステム

### ・3Gの強みを生かし、全方式に対応

### ・W-LAN、Bluetooth等の事業分野へ拡張

(\*)「FOMA」は株式会社NTTドコモの登録商標です。

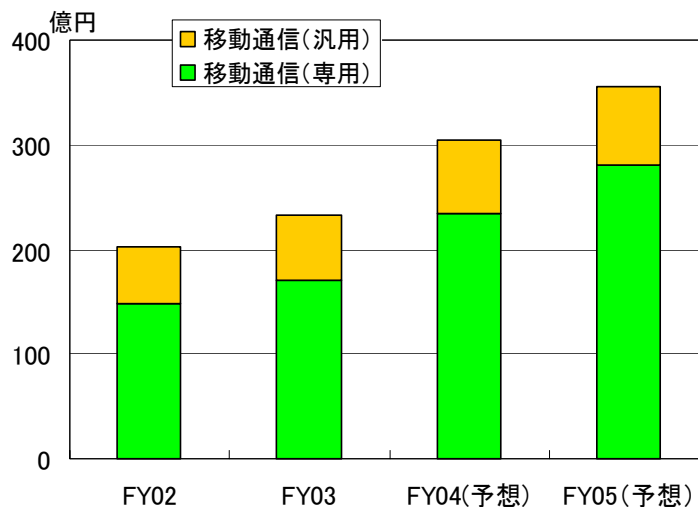


# 3Gグローバルターゲット市場

	開発	製造	建設・保守
アプリケーション	○ ■		
通信制御	○ ■ ● ◆		
インフラ	○	○	○ ■ ● ◆
端末	○ ■ ●	○ ◆	○ ●
ICチップ	●		

○ : 日本   ■ : 欧州  
 ● : 米国   ◆ : アジア

## 移動通信用測定器事業の展開

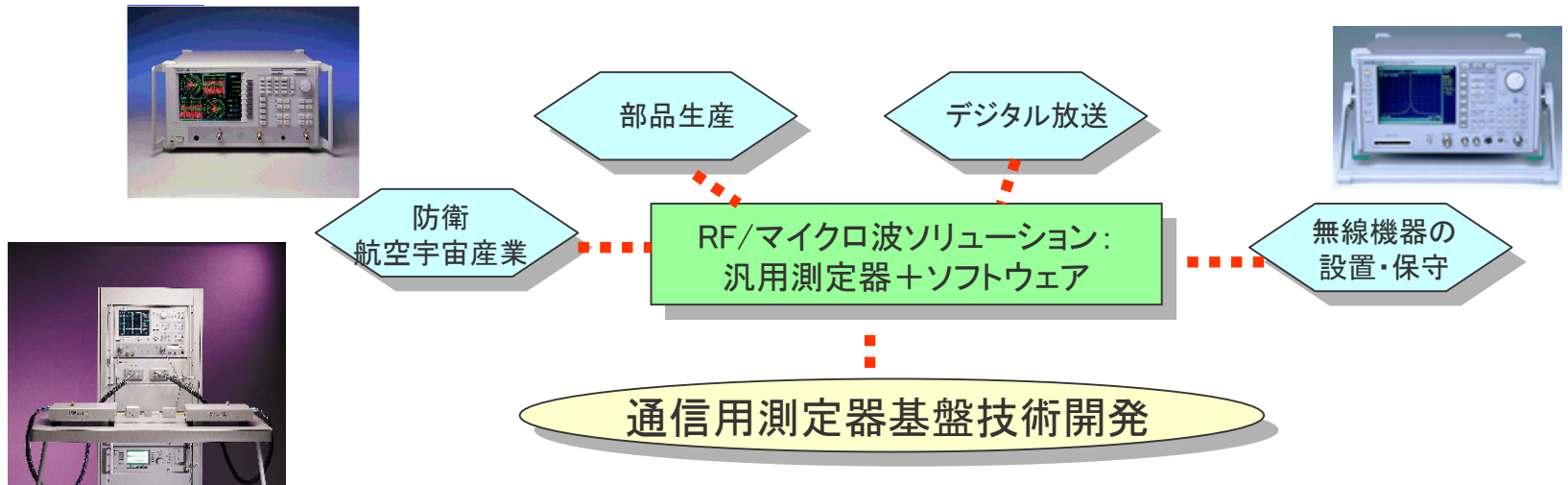




# 今後の事業展開(2/4)

## 2. 汎用測定器事業

- ユビキタスネットワークの各種アプリケーションに汎用測定器+応用ソフトウェアで対応
- スペクトラムアナライザのラインアップ拡充  
ハンドヘルドから開発用高級器までカバー
- 通信用測定器を支える基盤技術の開発



# 今後の事業展開(3/4)

## 3. IP関連事業

- 通信ネットワークのQoSに焦点を絞り事業を拡大
  - ・次世代IPネットワーク用プロトコルの開発/評価分野  
IPv6及びLAN系試験に注力
  - ・EoSネットワークの品質測定分野
  - ・光加入系ブロードバンドネットワークの測定分野
- “ピュアフロー”事業の推進
  - ・IPネットワークにおいて高精細なハイビジョン映像などを送信する際に発生するバーストラフィック(\*)の平滑化を図る高精度帯域制御装置  
“ピュアフロー”を開発、供給



(\*)バーストラフィック: 画像データなどで、瞬間的に非常に大容量のデータが送出されること。

# 今後の事業展開(4/4)

## 4. 新事業の育成

### – 精密計測:

- ・3次元測定ソリューションでデジタル家電市場へ参入  
デジタルカメラ、携帯端末用高密度プリント基板の  
ハンダ塗布状態の3次元画像による検査
- ・液晶製造装置用光マイクロメータ  
接着剤塗布量制御用センサとして大量導入

### – RFICテスト:

携帯端末用システムICの検査



RF半導体テストシステム  
ME7856A

印刷はんだ検査機  
MK5401B



# 経営システムの改革

## 1. グローバル展開

更なるグローバル化を推進するため体制変更

事業部、マーケティング、営業を一元的に統轄し意思決定を迅速化  
本社執行役員に欧米トップを入れて意思決定をよりグローバル化

## 2. 「知の製造業」の浸透

「サービス経済化」が進展する通信市場で顧客満足を高める  
事業展開

移動通信用計測器のソフトウェア、サービス等（テストシナリオ、アプリケーション開発受注、コンサルタント等）の売上比率：35%（2003年度）

## 3. CSRへの取り組み

社会的責任を意識した企業活動を展開



FTSE4Good Index Series

# 2005年3月期 年度業績見通し

## (1) 損益(連結)

単位:億円 ( )は前年同期比増減額 △:損失

	2004年度(予想)				2003年度実績	
	連結		単独		連結	単独
売上高	865	(+81)	510	(+35)	784	475
営業利益	50	(+32)	21	(+18)	18	3
経常利益	30	(+55)	11	(+43)	△25	△32
税引前利益	30	(+11)	11	(-5)	19	16
当期利益	17	(+6)	10	(-3)	11	13
FCF	70	(-34)	40	(-59)	104	99

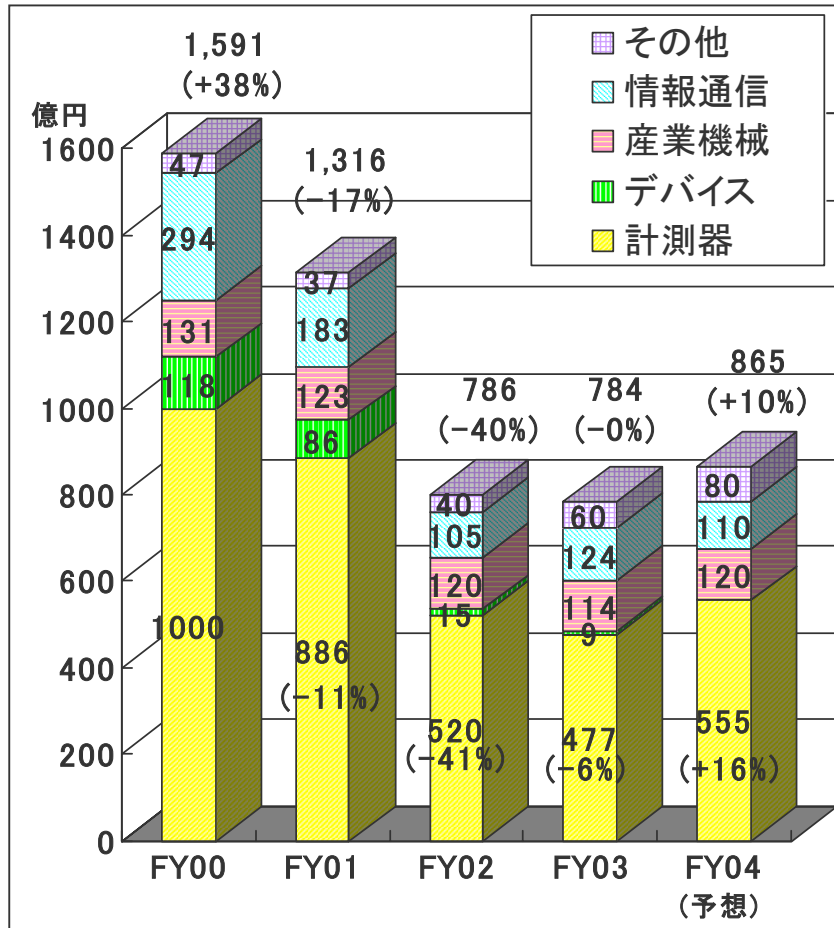
## (2) 事業セグメント別(連結)

単位:億円 ( )は前年同期比増減額 △:損失

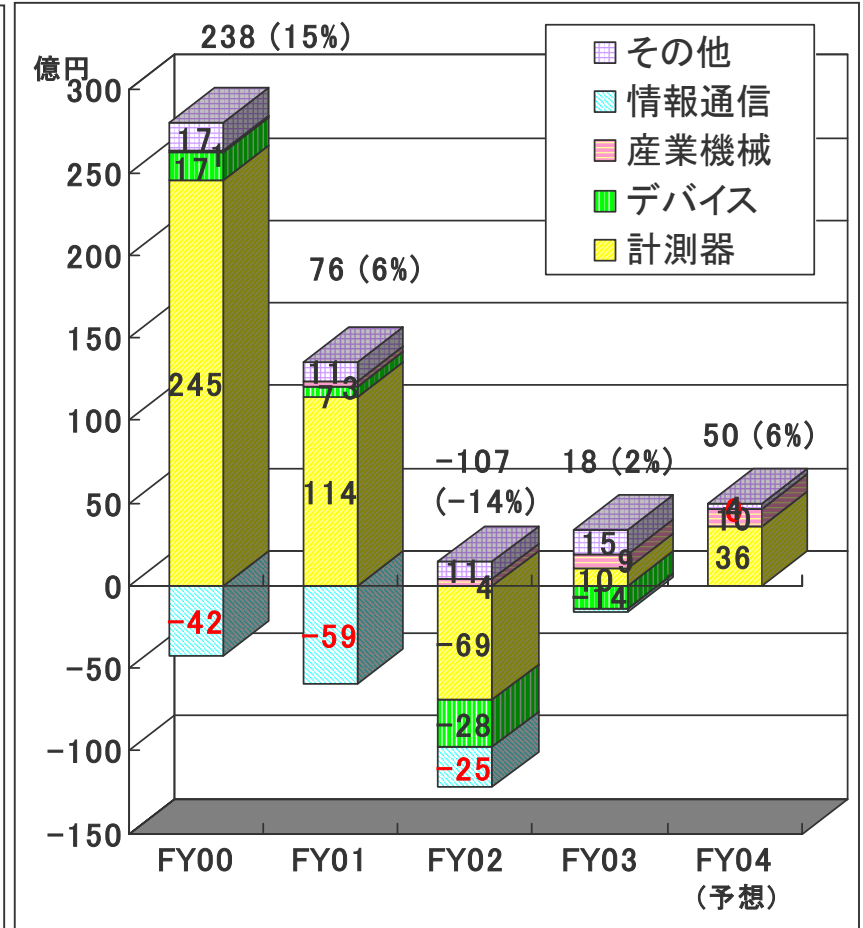
	2004年度(予想)				2003年度実績	
	売上高		営業利益		売上高	営業利益
計測器	555	(+78)	36	(+26)	477	10
情報通信	110	(-14)	0	(+2)	124	△2
産業機械	120	(+6)	10	(+1)	114	9
その他	80	(+11)	4	(+3)	69	1
計	865	(+81)	50	(+32)	784	18

## (3) 配当 1株につき7円(中間配当3円50銭)の予定

# 事業セグメント別業績見通し(連結)

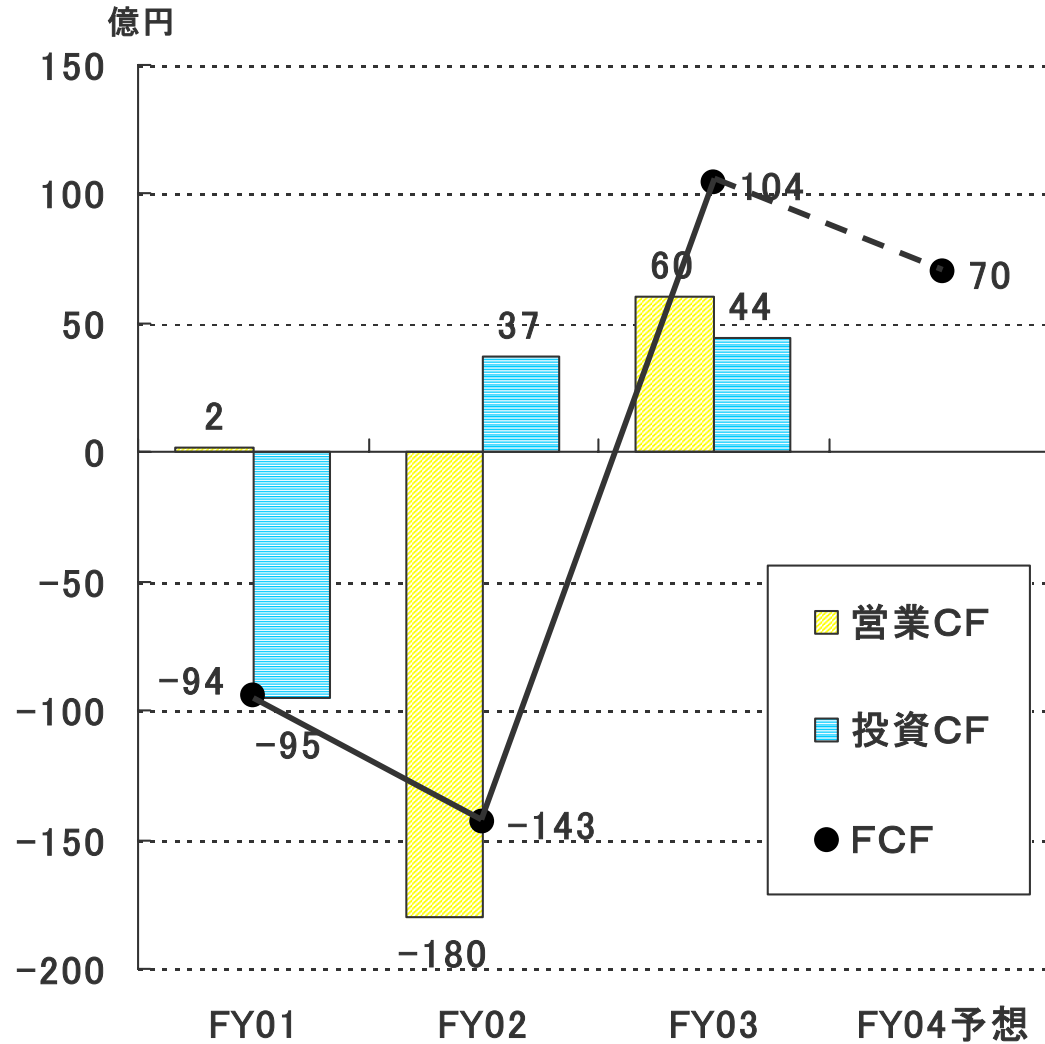


売上高 (%) : 対前期伸率

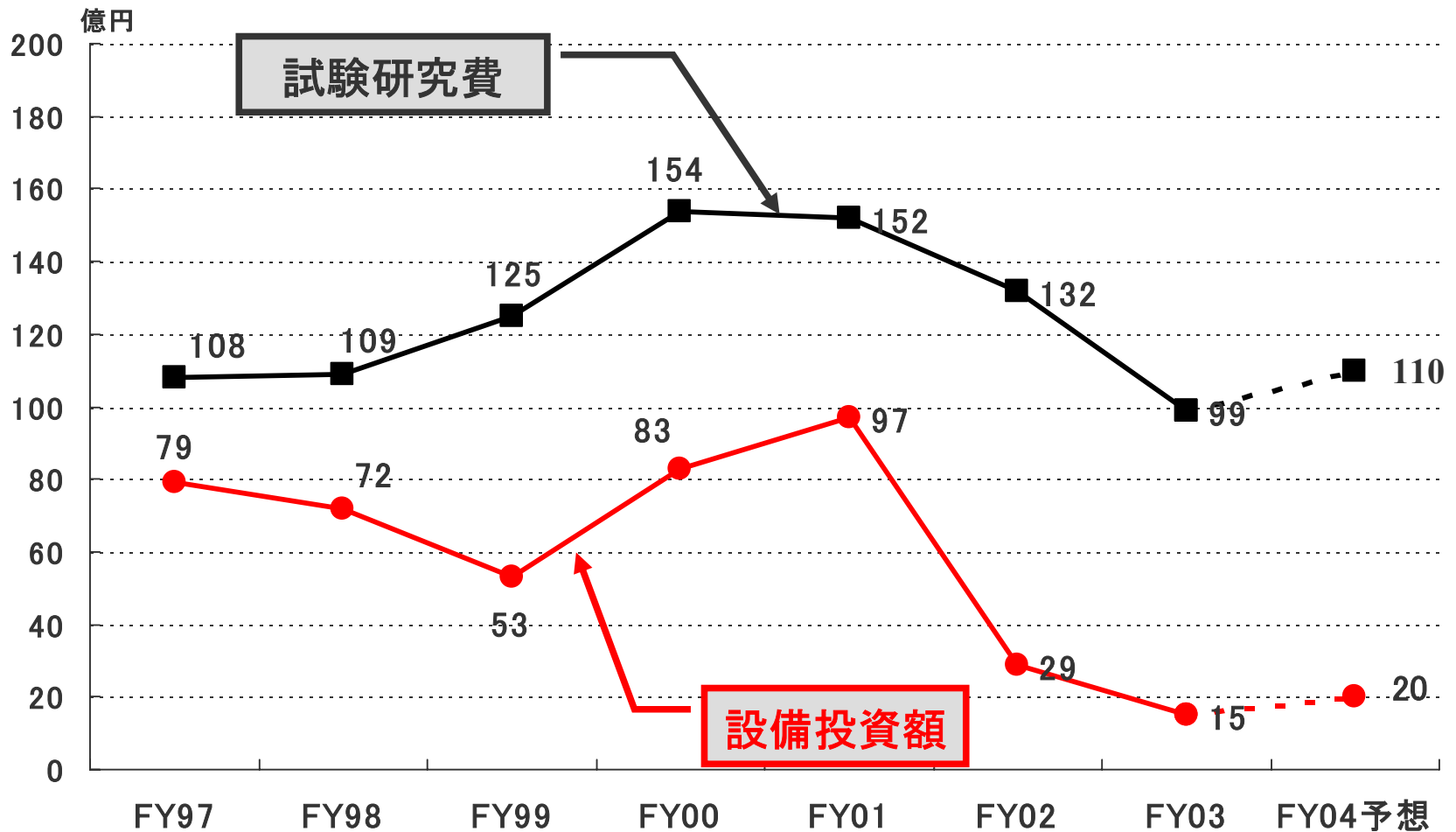


営業利益 (%) : 営業利益率

# キャッシュ・フロー見通し(連結)



# 設備投資額・試験研究費見通し(連結)





# 注記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。